

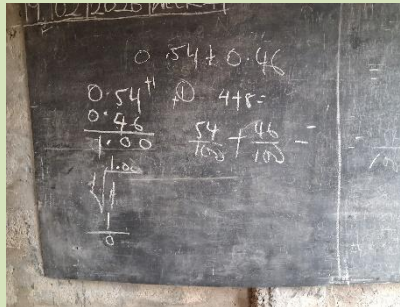
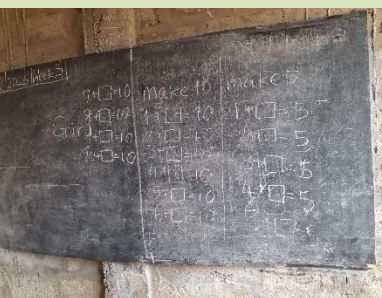
# ガーナでそろばんプロジェクト 130号(2026年2月27日)

★★ 学校全体で取り組む課題 ★★

二月のそろばん教室は、二回開室の予定でした。初日のそろばん教室は誰も来ることありませんでした。コロナ禍になる前までのそろばん教室、ギディオンやダバスちゃん、コンスタンヌがいた時代も数回だけ誰も来なかった日がありました。そんな日は「もう少しで皆勤賞なのに・・・」とか「今日、体調でも悪いのかな?」と思いました。それよりもっと前、デイビットやクレナムが通っていた時代は、誰も来なかったという事はありませんでした。この時代は、もっとも教室が栄えていた時代だったから、それなりに誰かがきていて、練習の中で行なわれる1分間の数字の書き取りをみんなが楽しみ、教室終わりのパンの時間もみんな楽しんで、その時間が好きで、私は子どもたちの成長がとても楽しみでした。そして現在、そろばん教室に誰も来なかった今月一回目の開室の日、この次も子どもたちは来ることは無いと判断して、そろばん教室をまたしばらく休むことに決めました。教室としてではなく、5年生を対象にそろばんの授業として指導していくことに変えました。そして、5年生初のそろばん授業の日に、新たな課題を知りました。Make1Onake5の理解をしていない生徒が6割近くいたのです。授業に訪れたこの日、前の時間に子どもたちは小数のたし算の筆算をやった形跡が黒板に残されていました。繰り上がって1になる少数の計算です。繰り上がりを理解してなければこの1を理解できないだろうな、そう思わずにはいられませんでした。しかし、このタイミングで5年生のそろばんの授業に入れて良かったと思いました。何故なら「九九を暗記する」と毎回、言っているのに加えて「make1Onake5を覚えること」と伝えることが出来るからです。しかし課題が多すぎます。私一人では解決できない課題です。そしてつい先日、学校代表とその娘と、今後のそろばん教室について話をしました。子どもたちに何度も九九を覚えるように言っているのに、覚えよ

うとしていないことを話しました。子どもたちの学びの意欲を批判した事になるので、プライド高いガーナ人だから不機嫌になるのでは?と思いましたが「もう少し、待ってくれ。」という驚きの言葉でした。「デイビットもクレナムも、今大で良い成績を修めている。プリンシラもフランスで学んでいる。トシコがそろばんを教えてきた生徒は優秀だ。そろばんをやって来なかった000は愚かな男になっている。」と、親族の子どもに対して嘆いたのです。ようやく認められたそろばんの良さ、そのそろばんの計算力をつけるためにも、make1Onake5、九九の暗記を子どもたちの必須事項としましょう。

報告 TOSHIKO



子どもの学びのサポートに心より感謝いたします。

協賛



トモエそろばん様